

製品名: ゲフィリンウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe87803

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:80 kDa; Observed MW:93 kDa

抗原情報

遺伝子名	Gephyrin
別名	GPH; GEPH; HKPX1; GPHRYN; MOCODC
遺伝子ID	10243
SwissProt ID	Q9NQX3
免疫原	ヒトゲフィリンの合成ペプチド

背景

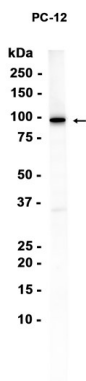
この遺伝子は、受容体サブユニットドメインおよびチューブリン二量体への高親和性結合を介して、抑制性神経伝達物質受容体をシ

ナプス後細胞骨格に固定する神経細胞組立タンパク質をコードしています。神経細胞以外の組織では、このタンパク質はモリブデン補因子の生合成にも必要です。この遺伝子の変異は、神経疾患である過敏症と関連している可能性があり、モリブデン補因子欠乏症を引き起こすこともあります。異なるアイソフォームをコードする多数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されていますが、すべての転写バリエーションの全長は現在のところ不明です。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



1:1000 の Gephyrin ウサギモノクローナル抗体を使用した PC-12 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。